

平成21年度 京都府立大学地域貢献型特別研究 (ACTR) 成果

分類 番号	A4	取組 名称	京都府における自殺の現状と予防対策の研究
研究代表者： 公共政策学部教授 高原正興			
研究担当者： 京都府立大学（竹中祐二・大学院福祉社会学研究科博士後期課程） 外部分担者・協力者（姫野紀代子氏、山口徹氏、渡邊能行氏、金子和夫氏、高治久美子氏他）			
主な連携機関（所在市町村、機関（部署）名） 京都府精神保健福祉総合センター、京都府山城北保健所、			
【研究活動の要約】			
<p>① 京都府における最新の自殺統計の収集・分析を行った結果、自殺率が高い府下の市町村として京丹後市・京丹波町・宇治田原町を聞き取り調査の対象に選定した。</p> <p>② 全国の自殺予防先進県から秋田県と東京都を聞き取り調査の対象に選定した。</p> <p>③ 府下の市町村の聞き取り調査については、8月13日に宇治田原町、11月30日に京丹波町、2月5日に京丹後市を対象に行った。</p> <p>④ 自殺予防対策先進県の聞き取り調査については、9月28～29日に秋田県、由利本荘市、八峰町、NPO蜘蛛の糸、3月30日に東京都、足立区を対象に行った。</p> <p>⑤ 以上の活動概要と成果は「ACTR調査研究報告書」を作成・配布している。</p>			
【研究活動の成果】			
<p>① 聞き取り調査の府下3市町については、自殺予防対策は京丹後市、京丹波町、宇治田原町の順に進んでいる。特に京丹後市では、旧町単位で保健師の日常活動が活発であり、市民課が独自に多重債務対策を行って成果をあげている。</p> <p>② 秋田県の聞き取り調査については、14年連続全国1位の自殺率に直面して、県が既に2000年度から多様な自殺予防対策を展開している。県の指導・援助を受けて、由利本荘市と八峰町でも積極的に自殺対策を推進しており、地方都市では保健師を中心とする地域福祉実践の中に自殺予防を位置づける視点が重要である。</p> <p>③ 東京都と足立区の聞き取り調査については、大都市部特有の中高年層対策が参考になり、足立区ではNPOとの連携に学ぶ点が多い。</p> <p>④ 現段階における自殺予防対策のポイントは、(1) 県が健康づくり対策の中に自殺予防を取り入れてまず啓発・研修の面から市町村を指導・援助すること、(2) 都市部と農村部の自殺予防対策をそれぞれ使い分けること、(3) 保健所の活動と地域づくり・住民参加を推進することの3点である。</p>			
【研究成果の還元】			
「平成21年度京都府立大学地域貢献型特別研究報告書 京都府における自殺の現状と予防対策の研究」を希望者に配布可、閲覧可			
【お問い合わせ先】 公共政策学部福祉社会学科教授 高原正興 Tel:075-703-5318 E-mail: m-takahara@kpu.ac.jp			

参考 (イメージ図、活動写真等)

